



▲探検部の頃。八ヶ岳連峰赤岳にて。

堀賢治さんは、2月号で紹介させていただいた「元ファイターの堀英理加さん」の夫君です。そうです。英理加さんをボクシングの道に誘った張本人で、長崎大学「探検部」の先輩です。賢治さんのご出身は北海道。ご両親は東京出身だということです。お父さまが北海道で教員となり、賢治さんはそこで生まれ育ちました。高校を卒業すると、福岡の会社に就職した友



「切る」「出す」「育てる（造林）」に共感!!

人の「九州は面白いよ!」という言葉に誘われるように福岡へ。「当初は1年くらい九州に住んでみようというつもりでした」1年間アルバイトをしながら生活し、長崎大学を受験。「福岡で一年住んでみて、九州が気に入ってしまったのもありましたから」長崎大学工学部社会開発工学科に入学した賢治さんは、いわゆる「部活動誘」の時期に友人から「探検部の会があるから行こう」と誘われ「探検って何すんの?」と聞くと「ラフティングとからしい」ということだったので、ひとまず会に行ってみたそうです。その会で見た活動の写真には、沢登りや無人島での生活など、いろんなアウトドア活動の軌跡が収められていたそうで、もともとアウトドア活動好きだった賢治さんはそのまま入部となりました。「実は子どもの頃から親に連れられて、登山とかにもよく行っていました」とのこと。

大学を卒業した後、賢治さんは東京にある鋼橋の総合エンジニアリング会社に就職。鉄橋を「作って、架けて、保全する」仕事に従事することになりました。早朝に出勤して、夜遅くに帰るといった毎日だったそうです。さて、地方への移住を考えるようになったきっかけは、第一次産業に興味があったこともそのひとつだったようです。特に林業に注目していたといいます。妻の英理加さんの「いずれは自然の豊かなところで子育てをしたい」という希望とも一致。賢治さんは東京でのセミナーなどで勧められた「林業大学校」で1年間、林業の勉強に励みました。そしてインターンシップで訪れた「とおわ守人企業組合」が行っている「切る」「出す」「育てる（造林）」という活動に共感したのだそうです。



はなわ けんじ
堀 賢治さん

十和に移住して3年目に入った賢治さん。実は、福岡にいた時に趣味で始めたキックボクシングを大学時代も続けていて、何度かアマチュアの大会に出場していました。しかし、就職して以降、忙しさの中でそんな機会もなく、約10年の時が経ちました。ところが2021年12月、10年ぶりに試合に出ることに。「はじめは、ある選手のセコンドとして行くつもりだったのですが、セコンドだけじゃなくて選手としても出ることにになりました。・」10年のブランクを考えると「厳しい結果になったのではないかと」思いながら聞いていると、なんと!驚くなかれ、判定勝ち!しかも30の圧勝だったとか!すごい!

OPEN コワーキングスペース開所しました!

4月16日(土) 四万十町コワーキングスペースの開所式が行われました。この施設は仕事や学習で利用できる作業空間として、町内外問わずどなたでもご利用できます。当日は天気にも恵まれ、内覧会のほか、もち投げも行い、多くの方々が来場されました。



四万十町コワーキングスペース
四万十町本町5番1号(旧商工会館跡地)
☎22-3533

開館日時: 平日(月曜日~金曜日) 9:30~18:00まで
利用方法: 受付にて利用申請書に必要事項をご記入ください。
休館日: 土日祝日、年末年始(12/29~1/3)



連載 No. 7

FAQ 教えて! 文化的施設のこと 令和4年度はどんなことに取り組むの?

令和6年度
開館予定

サービス計画の初年度として下記のことなどに取り組みます。
図書館・美術館機能に関しては現図書館・美術館とともに取り組みます。

◆ 図書のサテライト貸出(団体貸出)

図書館の団体貸出の仕組みを利用し、貸出先をサテライト*として位置付け、この場所を通じてさらに個人に図書の貸出をすることができるサービスです。施設に直接行くことが難しい人や地域にも、本に触れる機会を届けられるように、「地域の皆様と一緒に」その環境をつくり、育てていきます。試行的な取り組みとして、本年度から十和地域にある旧小鳩保育所でサテライト貸出のサービスを始めます。

*サテライト: 元の施設から離れた拠点を意味し、ここでは図書館の本館や分館の施設から離れた貸出拠点を指します。団体貸出を利用する団体が各拠点(サテライト)で行う貸出をサテライト貸出と言います。

◆ 施設の名義募集

命名 ???

長らく「文化的施設(仮)」と呼んでいた施設名。令和4年度はついに愛称を公募する予定です!皆で親しみを込めて呼んでいける名前を考えていきたいですね!詳細については今後告知します。(時期未定)

◆ 移動図書館車の購入・準備

文化的施設(現図書館)から遠い地域へ、移動できる「小さな図書館」として図書館サービスを届ける移動図書館車を令和4年度に整備する予定です。実際の運用は令和5年度から予定しています。単に本を配送するだけではなく、利用者の方の調べ物や課題解決も支援します。

◆ その他にも・・・

- ✓ 美術作品の点検
- ✓ STEAM教育ワークショップ
- ✓ 実寸大!施設想像・体感イベント

まちの文化が
流れるいきいきとした
文化的施設をつくり
育てていきましょう!

【施設本体の建築工事費等の予算計上時期について】
施設の実施設設計については、一体的に検討を進めてきたサービス計画との調整もほぼ終わり、今年度から本格的な建築工事費の積算作業に入ります。予算計上については、令和4年議会12月定例会を予定しています。